

新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

報告項目

- 1 これまでの経緯
- 2 鷺沼駅前地区再開発事業の概要
- 3 新宮前市民館・図書館について
- 4 内装工事費の概算額
- 5 今後の取組

1 これまでの経緯

(1)平成31年3月 「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」策定

- ・ 鷺沼駅周辺に宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備

(2)令和2年8月 「新しい宮前市民館・図書館基本計画」策定

- ・ 施設規模は現施設と同規模
- ・ 駅前街区の低層部3～5階に整備
- ・ 施設整備の考え方を整理
 - < 3つの機能 >
 - 「交流機能」「共創機能」「学習機能」
 - < 6つの施設整備方針 >
 - 「市民館・図書館スペースの融合」「スペースの再構築と有効活用」
 - 「魅力あるデザインによる空間の形成」「ユニバーサルデザイン化の推進」
 - 「防災機能の確保」「フレキシビリティの確保」

(3)令和5年4月～ 「基本設計」実施

- ・ 諸室の配置計画作成
- ・ 内装工事費の概算額算定

3 新宮前市民館・図書館について

「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、魅力的な空間づくりや事業・サービスの充実に向けて、諸室の配置計画等の検討を進めるとともに、官民の垣根を超えたフレキシブルな施設利用や、複合施設全体として一体感が感じられる運営等の工夫について再開発組合と協議を進め、魅力的な施設づくりを進めています。

■空間づくりのポイント

気づき・つながり

市民館と図書館の機能を融合した配置とし、新たな気づきや利用者同士のつながりを誘発する

気軽に

飲食や会話が可能なスペースを設け、気軽に立ち寄って利用できる

フレキシブル

市民館の会議室等を読書や学習できるスペースとして開放するなどフレキシブルに施設を利用する

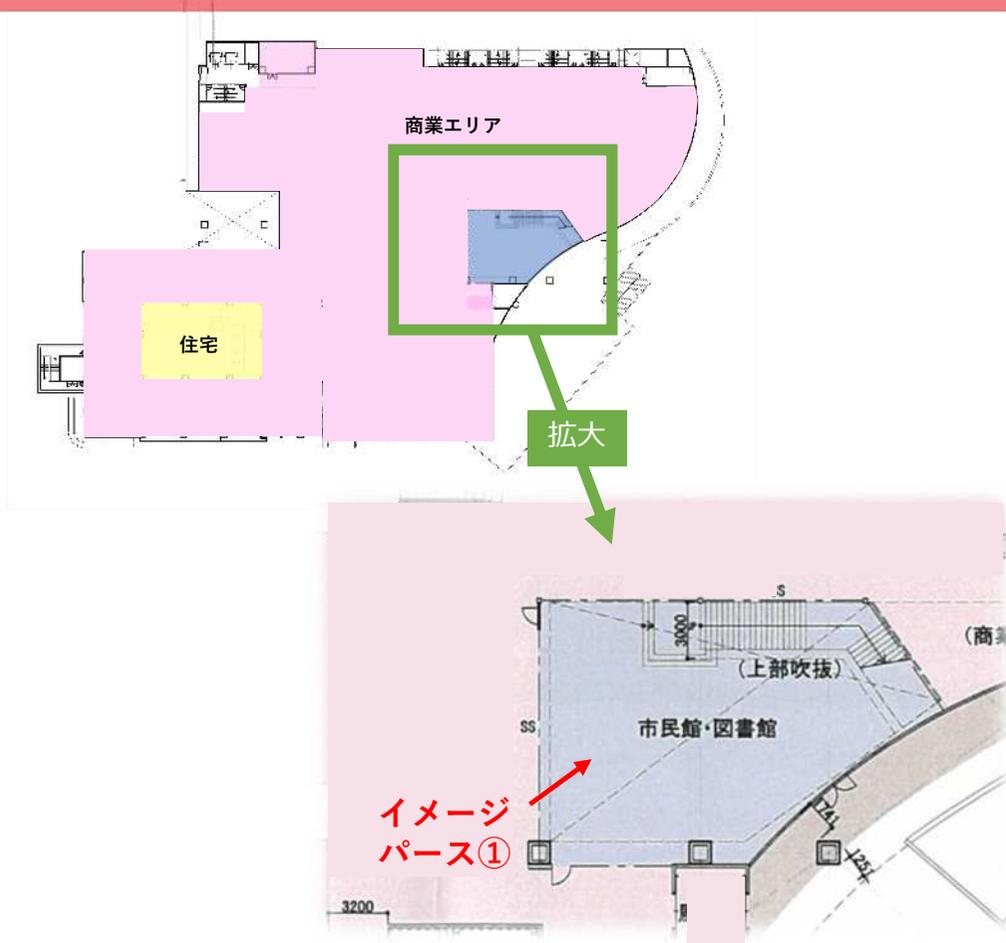
官民連携

市民館・図書館と商業施設が相互に関わりを深め、相乗効果を生み出しながら、官民連携による事業・サービスを提供する

新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

■各階の配置計画について

3階 市民館・図書館のメインエントランスで、図書館のオススメ本の配置やイベント開催などフレキシブルに利用でき、官民連携の中心にもなるにぎわいのフロア



イメージパース①



フレキシブルな利用



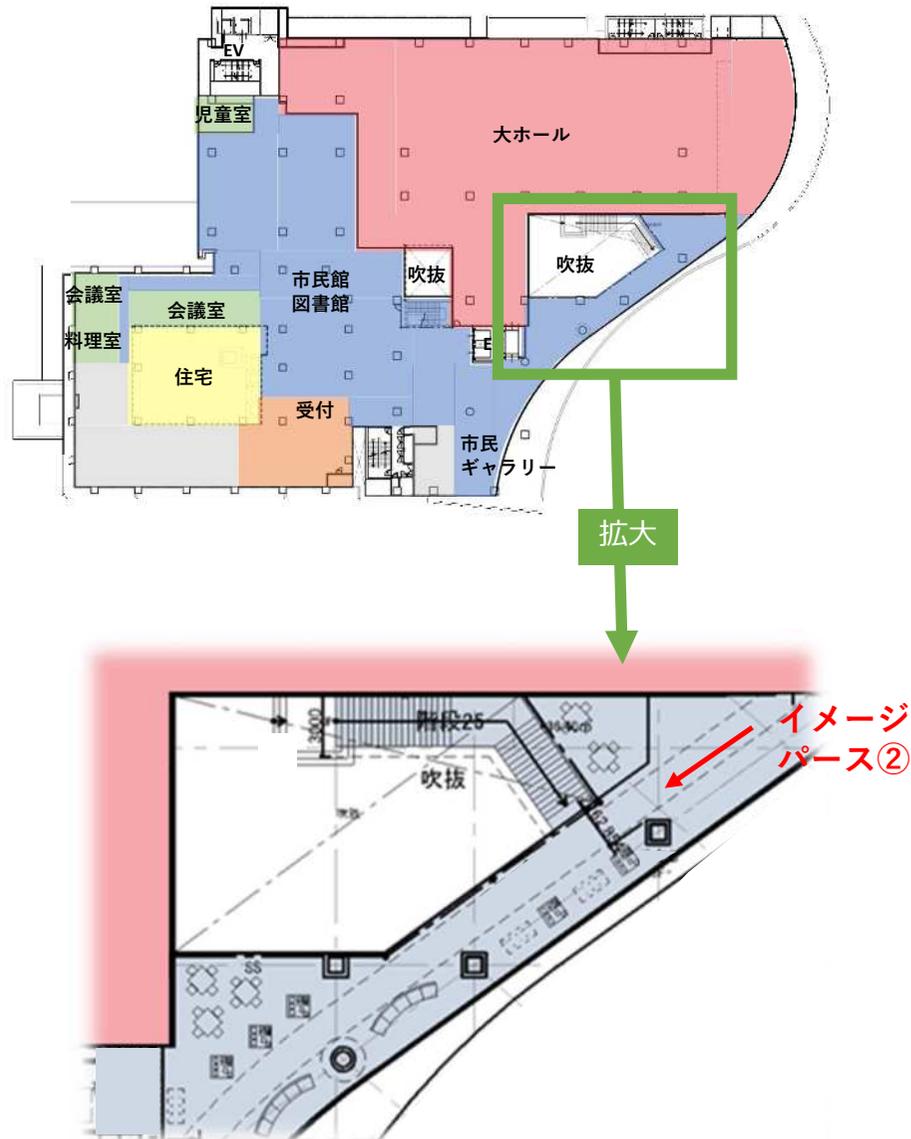
■ポイント

- ・日常は、図書館のオススメ本や机・椅子等を配置し、明るく開放的な吹抜け空間で、読書、学習、休憩、軽飲食などで利用できます。
- ・イベント時は、レイアウト変更し、利用者が足を止めて参加できるミニコンサートやトークショー等を開催します。

※配置計画は今後の設計で変更が生じる場合があります。

新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

4階 様々な演目に対応可能な大ホールや会議室を配置するとともに、気軽に立ち寄って利用できる児童図書コーナーやオープンスペースを配置した、交流と憩いのフロア



イメージパース②

3階から階段を上ったエリア



明るく開放的な吹抜空間

読書、学習、休憩、軽飲食
などで座席を利用可能

3階と4階の一体的な
イベント開催が可能

季節やイベントに合わせて
図書館の本を配置

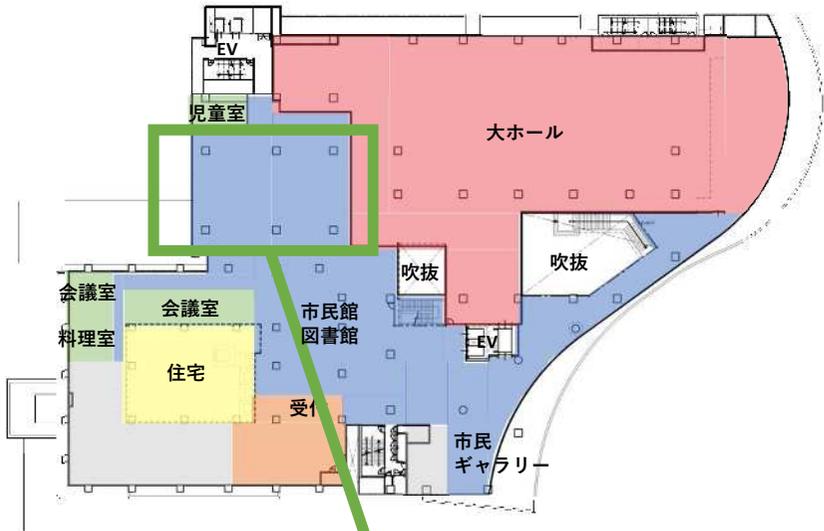
■ポイント

- ・季節やイベントに合わせて図書館の本を配置し、明るく開放的な吹抜け空間で、読書、学習、休憩、軽飲食などで利用できます。
- ・3階からつながる吹抜け空間を活かし、3階と一体的なイベントの開催します。

※配置計画は今後の設計で変更が生じる場合があります。

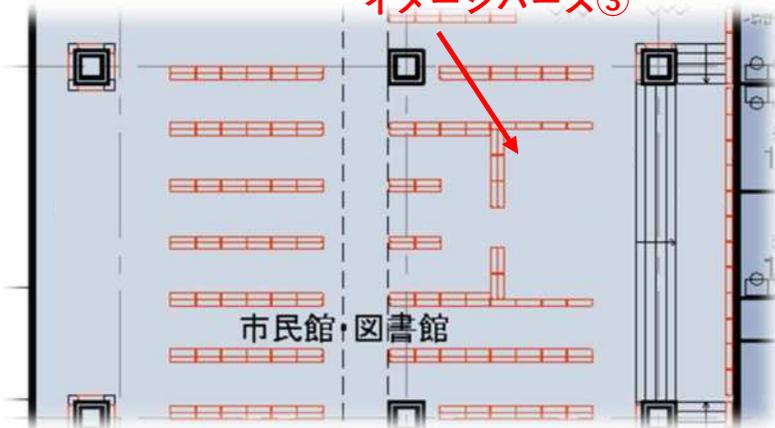
新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

4階 様々な演目に対応可能な大ホールや会議室を配置するとともに、気軽に立ち寄って利用できる児童図書コーナーやオープンスペースを配置した、交流と憩いのフロア



拡大

イメージパース③



イメージパース③

児童書架エリア



段差を活用した
読み聞かせ

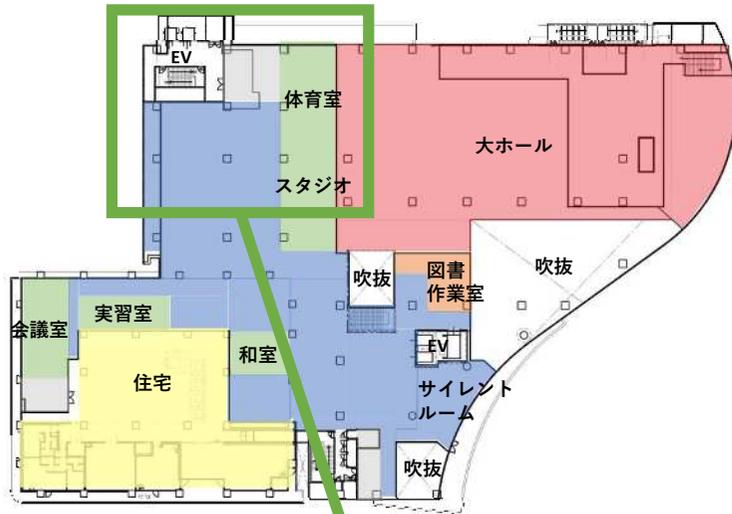
のびのびと読書や
学習で利用

■ポイント

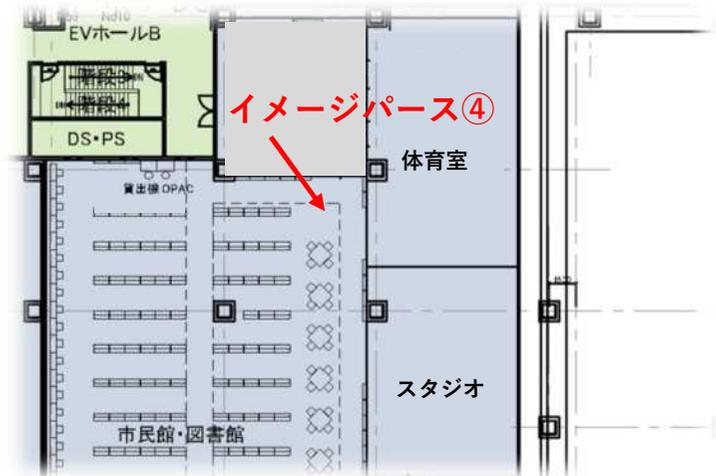
- ・こどもたちが遊びながら、のびのびと読書や学習などで利用できます。
- ・段差を配置した立体的な空間を客席のように活用し、読み聞かせなど、様々なイベントを開催します。

新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

5階 体育室やスタジオなど活動のスペースや、一般図書を配置した、新たな発見やつながりを誘発する学びのフロア



拡大



イメージパス④

体育室やスタジオと図書館が融合するエリア

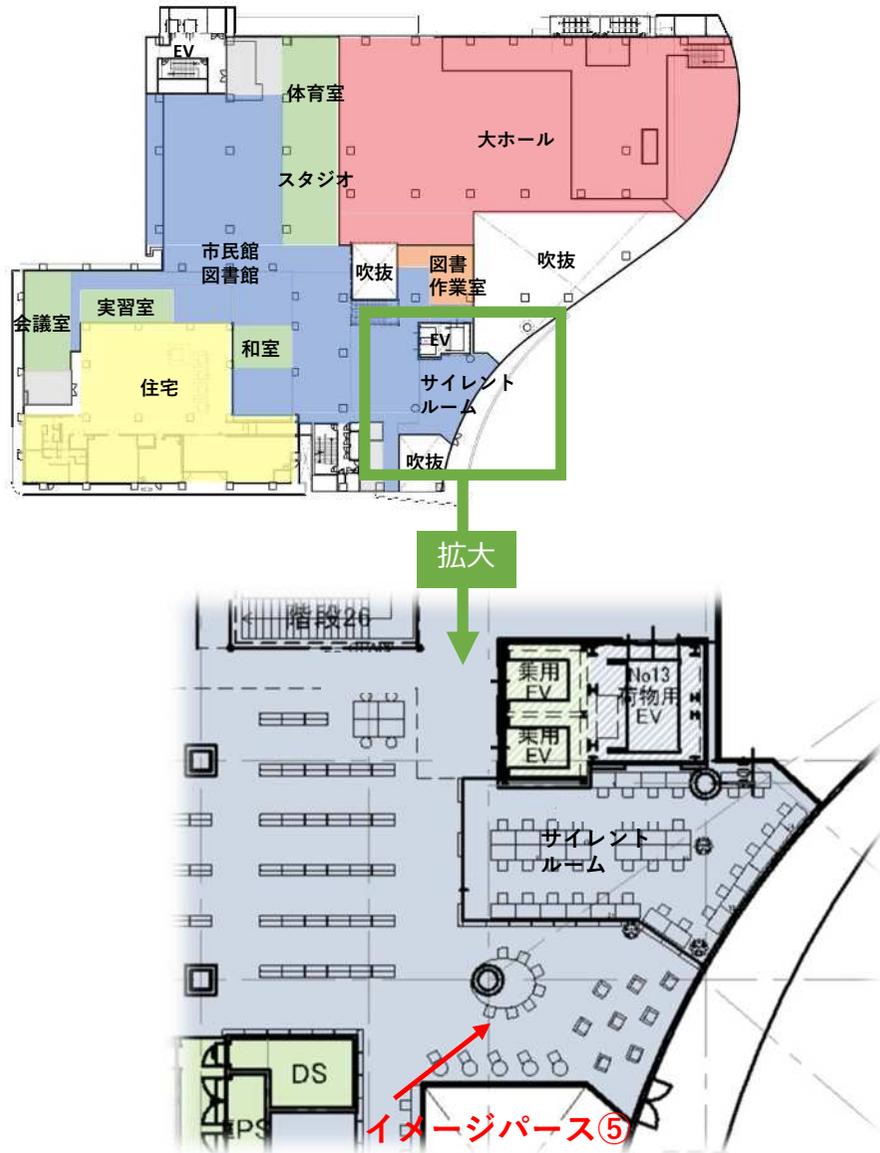


■ポイント

- ・体育室やスタジオなど、市民館諸室の活動の見える化を行うとともに、活動に関連する図書や座席を隣接して配置することで、新たな発見やつながりの誘発や、学習の幅が広がりやすい環境づくりなどを行います。

新宮前市民館・図書館の移転整備の進捗状況について

5階 体育室やスタジオなど活動のスペースや、一般図書を配置した、新たな発見やつながりを誘発する学びのフロア



イメージパース⑤

静かな環境で読書や学習ができるエリア

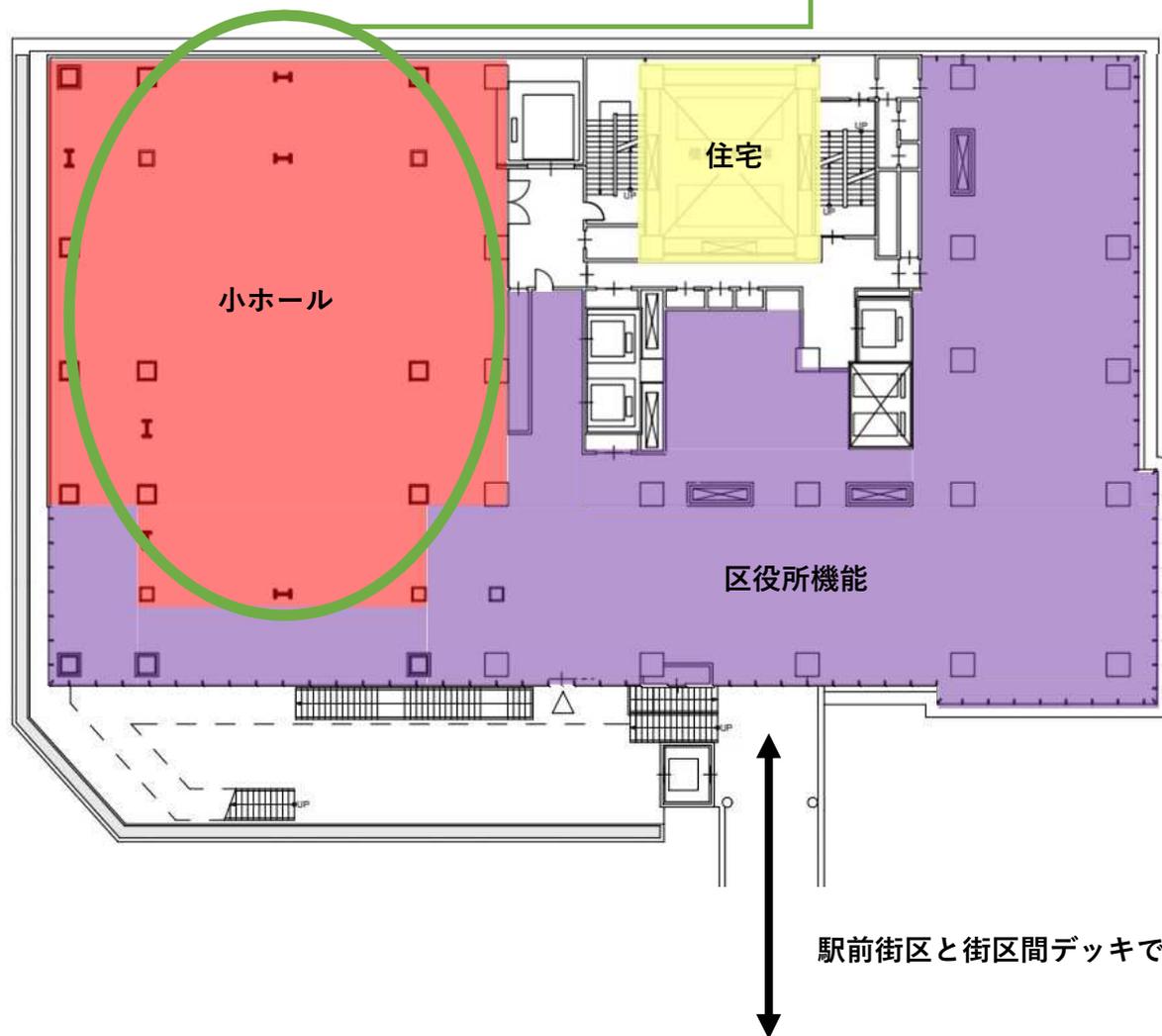


■ポイント

- ・ 静かな環境で読書や学習を行うことができるサイレントルームを配置するとともに、明るい環境でゆったりと読書などができるスペースを配置するなど、多様なニーズに応じた利用ができます。

※配置計画は今後の設計で変更が生じる場合があります。

4階（北街区）様々な地域イベントに対応できる小ホールを配置



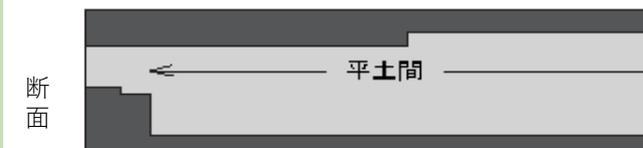
■ポイント

- ・利用用途に合わせて、舞台の大きさを変更し、平土間での利用も可能です。
- ・通常利用時は、200人程度で利用可能です。

①通常利用



②平土間利用



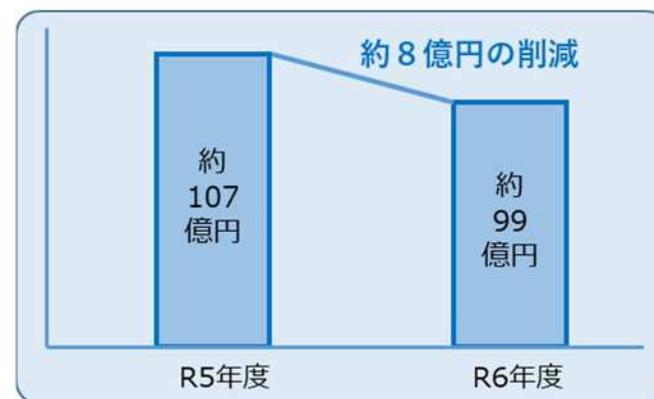
4 内装工事費の概算額

令和5年4月から基本設計を実施しており、令和6年3月の段階で設計者が算出した金額に物価上昇率を加味し、概算金額を算定したところ約107億円となりました。

その後、近年の物価上昇や人件費上昇等による所要額の増額に対し、各諸室に必要な仕様や設備等を改めて検討し、市民館諸室・図書館の建築工事における内装の仕様等で約6億円、小ホールの舞台設備等で約2億円のコストダウンを図り、約99億円と算定しました。

今後、実施設計を進める中で、更なる精査を進めてまいります。

令和6年3月	約107億円	(駅前街区約91億円、北街区約16億円)
	↓	内装の仕様等▲約6億円、舞台設備等▲約2億円
令和7年5月	約99億円	(駅前街区約85億円、北街区約14億円)



		駅前街区		北街区	計
主な機能		市民館諸室・図書館	大ホール	小ホール	
面積		約5,500㎡	約2,600㎡	約600㎡	
整備期間		R9～13年度	R9～13年度	R15～17年度	
内装工事費	建築工事	約18億円	約16億円	約2億円	約36億円
	設備工事	約17億円	約10億円	約2億円	約29億円
	舞台設備	—	約24億円	約10億円	約34億円
	計	約35億円	約50億円	約14億円	約99億円

※上記内装工事費には床取得費は含まれておりません。床取得費については、改めて教育委員会へ報告します。

5 今後の取組

- 令和7年度から実施設計を進め、再開発事業の設計等と調整を図りながら、内装工事の実施に向けて着実に取組を進めます。
- 実施設計の進捗に合わせ、効率的・効果的な管理運営を行うための「管理運営計画」の策定を進めます。
- 商業エリアに隣接する配置を活かし、引き続き、官民の垣根を超えたフレキシブルな施設利用や施設全体として一体感が感じられる運営等の工夫について再開発組合と協議を進め、魅力的な施設づくりを進めます。
- 床取得費については、改めて教育委員会へ報告します。

